

株式会社 松屋 2022年10月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	36.4	13.0
② 銀座店	36.7	15.3
③ 浅草店	32.7	9.6

- ① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
銀座本店	11.9	19.7	26.0	12.3	11.4	32.5	95.0	38.4	31.0	42.7	37.6	36.4
松屋銀座	13.4	20.5	27.4	12.8	10.8	34.4	103.6	42.8	33.6	46.1	36.1	36.7
松屋浅草	-1.7	12.3	12.2	5.5	17.6	11.1	29.6	2.9	3.1	13.9	57.0	32.7

3. 店舗別商況

銀座店	10月の銀座店の売上高は、前年に対して約4割増に迫る伸びを示しました。富裕層を皮切りに国内のお客様の買上が堅調で、その売上は、前年比約20%増(コロナ前となる2019年対比で約50%増)の伸びを示す等、強い回復基調にあります。特に、8月のリニューアルで売場面積が2割拡大した化粧品は前年比約67%増(コロナ前となる2019年対比では約20%減)、ラグジュアリーブランドは同約58%増(2019年比約72%増)、宝飾は前年に対して同約26%増(2019年比68%増)になる等、銀座店の強みとなるカテゴリーが館全体を牽引いたしました。また、秋らしい気候も加勢し、婦人ジャケット・コート等の重衣料も、前年比4割の伸びを示しました。一方で、月上旬より訪日外国人観光客の入国緩和が進み、免税の売上はコロナ前となる2019年対比で5割を上回る水準まで急速に回復(10/11からの入国者総数上限撤廃以降、月末までは2019年比で6割超まで回復)し、この趨勢は今後さらに強まると考えられます。
-----	--

4. 商品別売上高対前年増減率 (単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-19.6	-19.6
婦人服・洋品	6.0	5.2
子供服・洋品	19.7	19.7
呉服寝具他	-2.1	-1.3
衣料品計	0.3	-0.3
身廻り品	101.3	101.8
雑貨	35.5	23.8
家具	13.3	13.8
家電	49.5	49.1
家庭用品	-11.4	-11.5
家庭用品計	7.2	7.4
食料品	9.0	12.1
食堂・喫茶	30.3	29.5
サービス、その他	73.3	74.6
合計	36.4	36.7

※「2022年11月上報告」は、12/1(木)15時の開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部コーポレートコミュニケーション課
TEL(03)3248-8311 / Mobile: 070-4547-7555